

競技注意事項

1 競技規則について

本協議会は2024年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習場について

競技場トラックをウォーミングアップで使用してもよい。競技場外は使用しない。

3 招集について

- (1) 招集点呼は、競技する場所(現地集合)で行い30分前に開始し、20分前に完了する。
- (2) 競技者は、招集開始時刻までに集合し点呼をうける。その際競技役員にアスリートビブスとシューズ、スパイク、競技場内への持ち込み物品の確認を受けその場で待機する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとする。
ただし多種目同時出場により招集を受けることが難しい場合は代理による招集を認めるが本人到着次第、役員に申し出る。

4 アスリートビブスについて

- (1) 中学生(クラブ)、高校生は、中体連、高体連の登録指定アスリートビブスを使用する。
- (2) 小学生、大学、一般、マスターズは、受付にて貸与する。(協議終了後返却する)
- (3) ユニホームの背と胸につけるが跳躍競技に参加する競技者はどちらか一方でもよい。

5 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、シューズ)のフィールド競技での最大厚さは、20mm、三段跳びは25mmまでとする。

6 競技および競技方法について

- (1) 競技の試技順は、プログラム及びアスリートランキング掲載順とし8名に満たない種目の試技は6回とする。
- (2) 各競技とも協議開始20分前より担当役員の指示に従い競技ピットで練習してもよい。危険防止のため、他の場所での練習を禁止する。
- (3) 競技に使用する用器具は、主催者で用意したものを使用する。個人のものを使用する場合は、検査場において検査を受ける。
- (4) 競技者に対する助力については、競技規則第144条を適用する。
- (5) ジャベリックボール投げは、やり投げピットをしようする。試技は3回とする。
投げ方は、オーバーハンドスローとする。ボールは主催者が用意する

7 走り幅跳び・走り高跳び・棒高跳びのバーの上げ方について

- ① 走り幅跳びの測定ラインは、男女とも小学生は、2m、中学生は、3mとする。
- ② 走り高跳びのバー上げ方は次のとおりとする。

種目			練習	
走り高跳び	男女	小学生	100cm	~120cmまで5cm上げ以後3cm
	女	中学生	105cm	~140cmまで5cm上げ以後3cm
	女	高校一般	110cm	~140cmまで5cm上げ以後3cm
	男	中学・高校一般	120cm	~160cmまで5cm上げ以後3cm
棒高跳び	男女	中学・マスターズ	1m90	~5cm上げ
	男	高校	2m50	~5cm上げ

- ③ 天候、競技者の状況により審判主任の判断で変更することもある。
- ④ 各カテゴリーの優勝者決定のバーの上げ下げは2cmとする。

⑤ 県記録や日本記録更新の場合は、自由する。

8 入場管理および迷惑撮影防止について

競技場内の選手及び競技役員、補助員のみとする。

9 抗議・上訴について

抗議は、競技規則第 146 条にさだめられた時間内に口頭で大会本部に申し出る。

10 表彰について

各種目、各カテゴリーの 1 等から 8 等まで賞状を授与する。

11 一般連絡・注意事項

1 競技結果は、アスリートランキングで行う。

2 競技場内での疾病・傷害などの応急処置は主催者が行うが以後の責任は負わない。

3 大会期間中の貴重品の保管は、各自が責任をもって行うこと。

4 本大会ではすべての競技者が安心して競技に集中できる環境整備のため迷惑撮影防止を講じる

5 スマートフォン・タブレット端末（望遠を使用しない）以外の機器を用いてはならない

6 大会関係者が撮影した写真・ビデオは、主催者に使用権原があり SNS など情報発信に使用する
場合がある。

7 ごみ箱は設置しないので各自で持ち帰ること。

8 トイレは、メインスタンドの両側のトイレを使用する

9 競技場敷地内での飲酒、喫煙はしない。